

マルチメディアコミュニケーションによる 情報伝達の向上



研究概要

キーワード 声で伝える/心理実験/音声トレーニング/音声分析・合成/生体運動計測

人のコミュニケーションは、音声情報による内容伝達が占めているが、正しく伝わらないこともあり、効果的に伝える訓練法が求められる。一方で、歌や映画などでもプロの声に感動することもあるだろう。

本研究室では、顔の表情・声質・舌などを含めたマルチメディアコミュニケーションに興味を持っており、音声収録、音響分析に加えて、顔の表情や舌や口唇などの運動計測などを行っている。

またそれらの情報発信に対する知覚・脳波計測、合成音声による変換、さらに科学的な情報フィードバックを用いた音声のトレーニングを試みている。

音声について、体の動きたとえば姿勢・呼吸・声帯運動、舌や口唇運動などから考えた研究をしている。また工学的な評価だけでなく、医師、声優学校やボイストレーナーとのコラボを長期にわたって行っている。

今後の 展開や メッセージ

一般の人が直感的に感じる感動・違和感・改善希望等をご提案頂ければ、当方はそれらについて分析・可視化・心理実験・合成音声による改善・音声トレーニングによる改善等、ご希望に合わせてお手伝いします。

研究者 情報



高野 佐代子 准教授・博士(工学)

情報フロンティア学部 メディア情報学科
所属研究所：感動デザイン工学研究所

金沢工業大学電子工学科卒業、イリノイ大学交換留学、ATR人間情報研究所研修研究員、金沢工業大学システム設計工学博士学位取得。JST-CREST脳を創る「発声力学に基づくタスクプランニング機構の構築」およびドイツアーヘン工学大学にてポスドク。ATR脳活動イメージングセンタ(BAIC)研究技術員にてMRIオペレータの経験を持つ。アリゾナ大学生理学教室ポスドクを経て、2013年本学講師就任。2021年現職。

研究者情報URL

<https://researchmap.jp/7000018000>